

OUJ神奈川学習センター なつだより

通巻第79号

2019年7月19日発行

発行:放送大学神奈川学習センター

〒232-8510 横浜市南区大岡2-31-1

url: <http://www.sc.ouj.ac.jp/center/kanagawa/>

tel:045-710-1910 fax:045-710-1914



東京国際(羽田)空港 (7ページに関連する行事案内)

神奈川(みなとみらい)



目次	資源と環境を考えた材料技術の開発	所長 福富 洋志	2~3
	卒業研究履修ガイダンス		4
	ゼミ・研究会紹介「種田ゼミ」		5
	平成31年度1学期入学者の集いアンケート		6~7
	令和元年度神奈川学習センター開講ゼミ・研究会一覧		8~9
	Kーサポートからのお知らせ		9
	学生サークルからのお知らせ／同窓会だより		10~11
	神奈川学習センターからのお知らせ		12

資源と環境を考えた材料技術の開発

所長 福富 洋志

はじめに

現代社会は様々な高性能材料に支えられています。金属、プラスチック、セラミックスなど多様な材料がありますが、今もなお、構造物や機械器具に多用されているのは金属材料です。中でも、鉄は実用金属材料の90%(重量での比較)を占め、圧倒的な存在です。

自然界に存在する元素のうち約4分の3が金属元素です。しかし、アルミニウムなどごく一部の金属元素を除けば、大半の元素の用途は合金元素として他の材料の機能を向上させることにあります。

偶然の産物として様々な合金が生まれてきましたが、性能を向上させる原理が体系的に理解されるようになったことに計算科学の発達も加わり、材料開発は新しい時代に入りつつあります。同時に、このような科学技術の発展が進む中、社会の要求も変わってきました。

これまでの材料開発

ステンレスという言葉をご存知の方は多いのではないのでしょうか。一番有名なステンレスは、18-8ステンレスです。これは、鉄に18%のクロムと8%のニッケルを加えた合金です。流し台や、ナイフ、フォーク、スプーン、はさみ、包丁などに用いられています。ナイフやスプーンの表面に、“Stainless Steel”と記されているのをよく見かけます。皆さんも手に取ってご覧になってください。鉄の弱点である“さび”ができないのがこの合金の最大の魅力ですが、それに加えて、合金にすることによって強度も普通の鉄板の2倍以上になるため、包丁やはさみなどに使われているのです。

合金化は金属材料の性能を上げる重要な技術の一つです。合金元素の探索は昔から新材料開発の要でした。鉄は、炭素を加えて「鋼」にすることによって強度が向上します。そして、強度だけでなく、鋼の様々な性能を向上させる数多くの元素が発見されました。上記のCr, Niの他、Co, Mn, Mo, Si, V, Wなどがあげられます。鉄に次いで使われているアルミニウムでもCu, Mg, Mn, Si, Znなどの元素を加えて強度をはじめとする様々な性能を向上させています。ロケットなどに使われているチタンもAlやVの添加が高強度化をもたらしています。

鋼やアルミニウム、そしてチタンに添加され、合金の性能を生み出しているこれらの元素のほとんどがレアメタル(希少金属)と呼ばれるもので

す。よく似た元素群にレアアースがありますが、こちらは周期表上の希土類元素のことで、レアメタルとは別の元素群です。

レアメタルとは、資源そのものが希少、あるいは製造する簡単な方法がない金属元素を指しています。因みに、希少ではない金属元素は、コモンメタルと呼ばれます。

レアメタルは希少なだけでなく、産出場所も偏在しており、わが国にはほとんどありません。レアメタルを、これからも大量に、継続的に入手していくことは容易ではありませんし、いずれ枯渇することも予測に難くありません。また、レアメタル鉱山の開発や鉱石の採掘、精錬が環境破壊を伴うことが多いことも問題になっています。

合金化によってのみ実現できる性質もありますから、合金をなくすことはできませんが、このような背景から、今、合金元素に依存しすぎない材料技術の開発が急がれています。

合金元素に依存しすぎない材料開発

結晶粒の微細化

ほとんどの金属が室温では結晶です。高等学校で面心立方構造などを学んだ方も多いと思います。

図1は電子顕微鏡で金属板の表面を観察し、計算機で処理して画像にしたものです。この試料は実は高温でわずかに加工したものですので、境界線が少し湾曲していますが、この金属板が色の異なる多数の多角形で構成されていることがわかりま

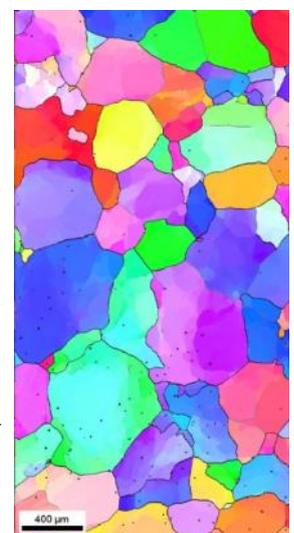


図1

す。図中の直線は0.4mmを示しています。色は原子が並んでいる方向を反映しています。この図から、材料では、原子のならば方向は場所によって異なり、様々であることがわかります。同じ方向に原子が並んだ領域、つまり同じ色で他の場所とは区切られている領域一つ一つを結晶粒と言います。合金元素に依存しすぎない材料技術の第一は、結晶粒を小さくすることです。

古くから結晶粒を小さくすると強度が向上することが知られていました。普通の製造方法で金属材料を作ると、0.1mm程度の大きさの結晶粒になります。図1は平均すると結晶粒が0.2mm程度の大きさの例です。これをさらに小さくしていくと、理論的には、強度を十倍以上にできることが予測されます。私はこれを自分の研究テーマにすることはありませんでしたが、全世界で結晶粒の微細化を目指す研究が展開され、純金属に合金並みの強さを持たせられることが確認されています。わが国でも100億円を超える研究費が投入されました。

結晶配向制御

この10年間ほど、私が取り組んできたのは、結晶の向き(配向)を揃える方法の開発です。図2は体心立方構造とよばれる結晶構造です。丸は原子を表しています。中心の原子を通る点線は対角線です。図から方向によってとなりの原子との距離が異なっていることがわかります。ですから、対角線の方から力がかかった時と立方体の辺に沿った方向から力がかかった時では、強さが異なります。つまり、本来、結晶の性質は向きによって異なるのです。

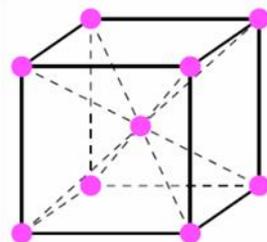


図2

しかし普通、材料が向きによって異なる性質を示すことはありません。これは、図1が示すように、これまでの方法で製造された金属材料では、結晶の向きがバラバラなために、結晶の持つ本来の性質が隠れてしまうためです。このような特徴は、材料を使う際に使う方向を気にしなくても良い点でメリットがありますが、一方では結晶の持つ特性を十分に活用できていないことでもあります。結晶の向きをそろえることで、合金元素に依存しすぎることなく材料の性能を

最大限引き出し、それを前提とした設計を行って新たな高性能製品を生み出す、これが結晶配向制御の意義です。図3は私の研究室で開発した方法をFe-3.0%Si合金に適用した結果です。図中の直線は図1と同じく0.4mmを表しています。図1よりも狭い領域の観察結果ですが、大半が赤、わずかに青の結晶粒が認められるのみで、結晶配向が制御されていることがわかります。

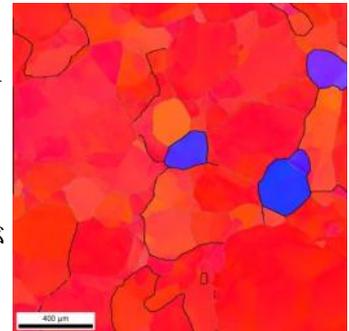


図3

世界の潮流、資源循環、サーキュラー・エコノミー

日本では自治体が主導して、アルミニウム缶、スチール缶(スチールは鋼を意味する英単語です)の回収を行い、これらの金属を再利用する資源循環が進められています。

アルミニウム缶は全体が同じ材料で作られていると思う方が大半ではないかと思います。しかし、実はボディ一部と蓋の部分で違う材料が使われています。前者にはアルミニウムとマンガンを基本とする合金が、後者にはアルミニウムとマグネシウムを基本とする合金が使われています。ですから、アルミニウム缶をまるごと溶解してそのままアルミニウム缶の原材料として使うことはできません。もう一度アルミニウムを取り出す工程が必要になります。

鋼材の場合も同様です。「鉄」と言うコモンメタルに多様な合金元素を調合して加えることによって、目的に応じた最適の材料が提供できることが鉄の強みです。しかし、再利用にはこれが妨げになることは言うまでもありません。合金元素を最小に抑え、種類を限定することが再利用を容易にするために必要です。

サーキュラー・エコノミーとよばれる概念がEUから提唱されています。日本では普通になった資源循環をさらに進化させ、再生・再利用することを前提とした設計、廃棄物の資源化、リサイクルをとりいれることにより、環境への影響を削減しつつ経済活動を拡大することを目指すものです。ここで紹介した、合金元素に依存しすぎない材料開発はサーキュラー・エコノミーを実現するキーテクノロジーの一つなのです。

卒業研究履修ガイダンス



安池智一教授

6月30日(日)神奈川学習センター卒業研究履修ガイダンスが開催された。

前半は、大学本部の水野さんによる卒業研究履修の手続きの説明。卒業研究履修の手引き等の資料に基づき、卒業研究

を履修するために必要な条件(取得単位や学籍等)、申請～履修手続き、質問・相談等の内容だった。続いて、自然と環境コースの安池教授から次のとおり話があった。

学士になる(大学を卒業)者が、身につけておくべき能力を「学士力」といい、知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、統合的な学習経験と創造的思考力の4つに分類される。通信制の問題点として、新しい課題を自分でたてて解決する「実際にやってみて獲得する」能力が不足しがちである。

放送大の学びでは、1.問題の発見力 2.知識の運用力 3.主張の構成力 4.論旨の表現力、が得にくい。このうち、2.3.4.については、訓練で獲得可能で、訓練の場として卒業研究は適している。

「フェルミ推定」の例など、うまく問題を分割することで議論が可能になる。これができれば、論文を書く(アカデミックライティング)は、難しくはなく、細かく分けた内容ごと、事実を積み重ねてゆけばよい。ただし、文章は、どういう順序で書いていったらきれいに繋がるかという、テクニックも要る。

卒業研究は、他では得られない「長文を作成し添削を受ける」機会になる。修士への進学を考えている方は、できる限り履修してほしい。

一方、卒業研究には、研究の練習の側面がある。多くの分野では、新規性は必要としていない。自然系(理学部など)では、最先端の研究は、学部の学びの遙か先にあり、膨大な既存の知識を積み上げ、やっと新規性のある研究が行える。それに対し、卒業研究は、既存の知識の再構成や解釈をし、それを纏めて、レビューを書くような手法で書かれても意味がある。この場合、実験や実地調査は必須ではない。

そして、履修許可を得るには、適切なテーマ設定が必要。「小さなテーマ」で自分の得意なものに結び

ついていると取り組みやすい。「小さなテーマ」とは、「よく定義されたテーマ」のことをいう。

例をあげると、「民主制について」というテーマは、とても大きなテーマであるが、これを区切り「アテネの民主制について」とすれば、範囲が限定され、具体化しやすい。その中で、世界各地に民主制と較べるという手法もある。さらに「アイスキュロスの縛られたプロメテウスにおけるアテネの民主制について」となれば、ある文献の中のアテネの民主制のテーマなので、1～2ヶ月あれば読み込めて、議論を展開できる。

自分のテーマを持って卒業研究に望まれる方は、先行研究を調べてほしい。そのテーマで、研究者がどういうふうに取り組んでいるかが分かり、学問全体が、今何を議論しているかが見えてくる。自分の問題意識と対比することにより、自分の問題意識がどういうものかわかる。自分の問題意識と学問全体の議論には、必ずズレが生じるが、それが、オリジナリティーとなる。

先行研究を調べるには、電子ジャーナル国内全分野の「CiNii Articles」を利用がよい。

履修前にテーマを持たない方は、本部の専任教員リストを見て、テーマを考えるという方法もある。自然と環境コースでは、指名があれば対応できることが多い。

履修開始から論文提出までは、僅か5ヶ月ほど「履修開始前に先行研究調査はしておいてほしい。」「履修開始後は、進捗の報告や質問はこまめに。」メールの返信など、短くてもいいのですぐレスポンス。

教員としては、卒業研究はぜひ受けてほしい。履修しようとしている友人がいたら伝えてほしい。

福富所長からは、卒業研究で何が学べるか、スタイルや方法について話があり、卒業研究履修の手引きを熟読の上で、相談票や質問票の提出を薦められた。

また、所長面談は、学習センター客員教授や近隣大学の教授の指導を受けられる場合は必須。それ以外でも、面談を経ることにより、よりよい申請書が出せるようになる。面談前には、卒業研究履修票をコピーし、それに記入してから来てほしい。研究テーマの概要、研究構想、関心を持ったきっかけ、何を基盤として考えるのかゆくのか、どこから必要な知識を得るのか、このようなことが書ければ、卒研への準備が整っている。



ゼミ・研究会紹介「種田ゼミ」

種田ゼミで何をやっているの？ ゼミ生 石橋 正彦

種田ゼミは放送大学元客員教授・横浜国立大学名誉教授の種田保穂先生が指導して下さっているゼミです。まず種田先生をご紹介します。種田先生は高知大学文理学部卒業、東京教育大学大学院理学研究科修了、理学博士。横国大では主として真鶴にある付属の臨海環境センターで



種田 保穂 先生

「群体ホヤ」を主体とした磯の生物の研究をされてきました。趣味はテニス、料理、陶芸、手品、チョウの収集など。最近は特に陶器の作製で腕を上げておられ、展覧会でも魚のデザインの皿のセットなど好評です。ともかく何でも出来る、何でも知っているという感じの先生です。

種田ゼミでは原則として毎月1回学習センターの教室で、動物に関していろいろな角度からの本の紹介が主になされています。とくに定説とされている理論の反論に関しての解説などは興味深いもので、ゼミ生の感想は、「2か月かかってようやく読める本を2時間で隅から隅まで読んだ気がする」。先生の本の紹介・解説の後には弘明寺の商店街に場所を移して、潤滑油(アルコール！)を入れての懇親・懇談の時。これもいつも楽しく、有益なものです。また先生のかつての研究の場であった真鶴の臨海環境センターに宿泊して、磯の動物の採集・観察も年数回ゼミとして実施しています。例えばプランクトンネットを使って、夜光虫や種々のプランクトンを捕まえて実験室で顕微鏡観察。実験室ではウニの産卵の観察も印象的でした。カニをスルメの餌で釣って寄生虫の寄生によるオスのメス化の観察、冬の磯は観察しやすいから夜の磯の観察、等々は普通では体験することが出来ない貴重な体験です。捕まえた動物は原則として観察後海に戻しますが、中にはさら



に調理実験あるいは試食実験の材料になるものもあります。タコの茹で方のコツの伝授、アメフラシの試食(海辺で



つつくと紫色の液を吹き出すやつ！なかなか美味！)なども種田ゼミならではの体験です。真鶴の臨海環境センターを利用する場合は3食自炊なので、近くの魚屋からマンボウの刺身(肝醤油で食べると良い！)を買ってきたり、採ったカメノテを海水で茹でる(これはまさに絶好のビールのつまみ)、など普段味わえない海の幸の試食など、また種田先生の深い造詣・経験に基づく手料理も生きた学びとして体験できます。

またズーラシア見学、探鳥会(平塚の豊田近辺の田んぼでタゲリやケリ、湘南台の県立境川遊水地公園でカワセミや各種サギ類、カモ類などの観察)なども年中行事になっています。

このように教室での講義だけでなく、屋外での種々の生物観察や実験など種田先生を囲んで楽しい生きた学びが出来る、というのが種田ゼミです。

馬頭農村塾にて沼のカイボリ ゼミ生 渋谷 正美

6/25-27の二泊三日で神奈川学習センターの種田ゼミでは、栃木県の馬頭農村塾にて沼のカイボリ作業をしました。目的はヤゴの生息の環境を整えるための鯰、ウシガエル、鯉、ヒシの駆除です。二日間で鯰は10匹、ウシガエルのオタマジャクシ345匹、成体1匹を捕まえました。沼は膝まで泥に埋まる場所もあり、慣れるまで大変でしたが、貴重な経験が出来、楽しかったです。

夕食で鯰料理とピザ窯で焼いたピザを頂き、夕食後、ガチのホタル狩りへ。目的は東北型の源氏蛍の雌の捕獲。蛍の先生の指導のもと、2日目で目的が達成できました。

色々なスペシャリストが集まり、内容の濃い三日間でした。皆さんに感謝。お天気にも感謝。ワクワクの三日間でした。



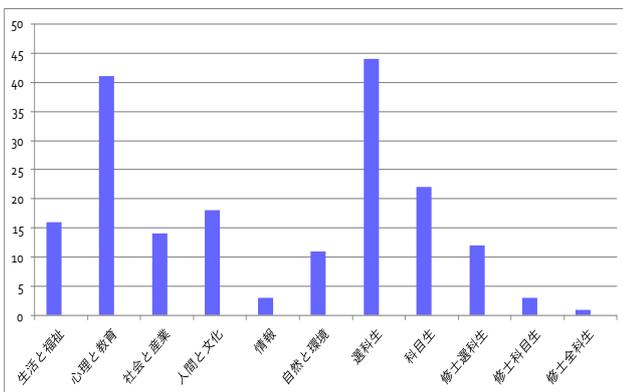
平成31年度1学期入学者の集いアンケート

編集部

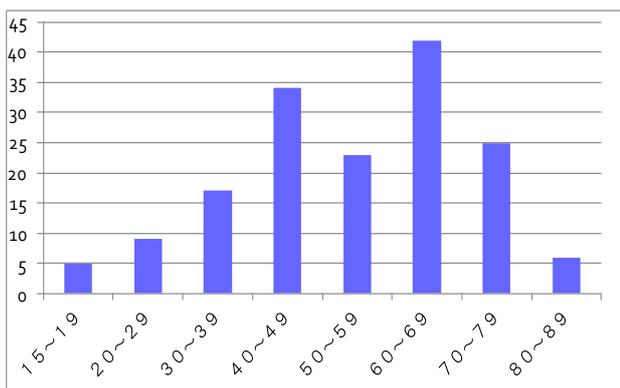
入学者の集い参加者に対して、2009年4月から継続的にアンケートを実施しています。

今回の集い参加者は230人で、うち176人の方に回答いただきました。回収率は、76%でした。

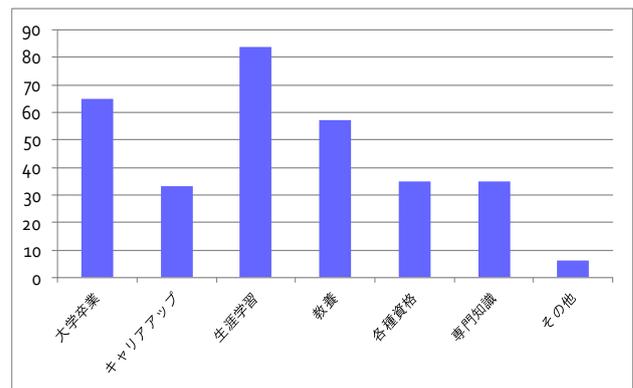
設問は、10問。Q1. 入学の学生種類とコース、Q2. はじめての入学か、再入学か、Q3. 性別、年代、職業、居住地域、Q4. 放送大学のことをどこで知ったか(媒体の種類)、Q5. 募集要項を入手した場所、Q6. 入学した目的、Q7. 放送大学のしくみや、学習のすすめかた等で、わかりにくいところがあるか、Q8. 入学前に、電話相談や学習センターの相談を利用したか、Q9. パソコン、インターネットの利用状況、Q10. 入学者の集いの感想および自由意見。このうち、Q. 3. 4. 5は、主に学習センター事務室が利用するための設問となっています。



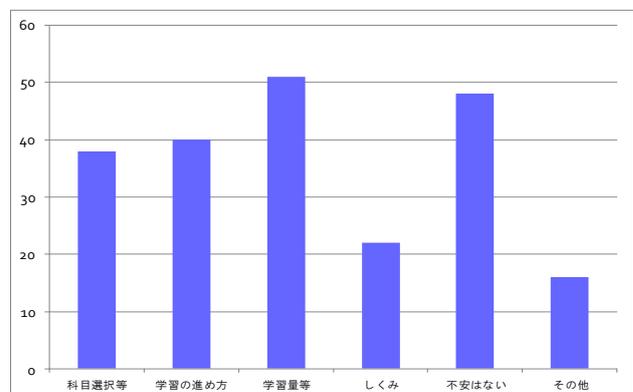
はじめに、学生種別の入学者(上図)です。学部について、61%が全科履修生、そのうち40%が、心理と教育。選科生26%科目生13%。最近3回で比較すると、全科生が多く、科目生が少ない傾向です。



次は、年齢構成です。60歳代がピークで次が40歳代となりました。30歳代以下が少ないのは最近の傾向ですが、60、70歳代が引き続き増加しています。

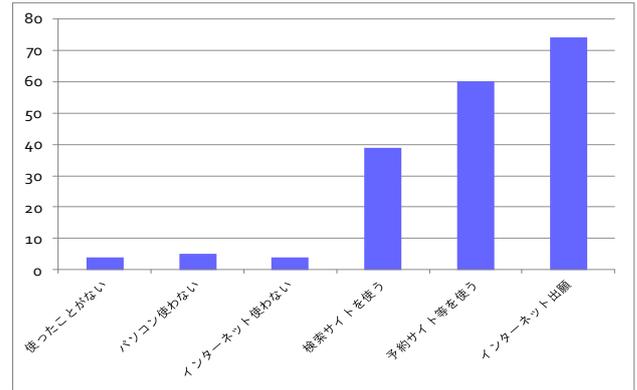
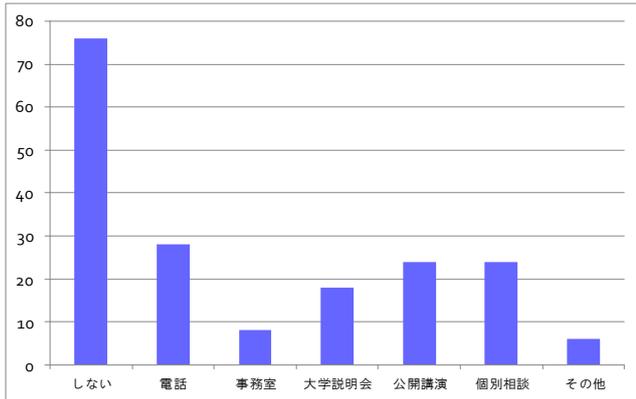


入学動機については、過去数回と大きな変化は見られませんが、今回全科履修生の割合が高いためか、大学卒業をあげる方の割合が高くなっています。また、専門知識の向上をあげる方もやや多くなっています。



学習のすすめ方や放送大学のしくみでわかり難いところは、の問いには、例年に比べて、科目選択や放送大学のしくみについて不安を感じる方の割合が減り、不安が無い方の割合が多くなっているのが特徴となっています。入学時に放送大学のことを熟知しているか、または、よく理解していると感じている方が多くなっていると言えます。

入学前の相談状況についての問い(次項)には、半数近くの方が、相談をしなかったと答えていて、電話相談や、個別相談を、それぞれ15%前後方が利



用しています。各種相談を利用された方は、30%強で、相談を利用されている方は、前回に比べ微増している程度ですが、にもかかわらず、不安がないという結果になっています。専門の知識の向上、卒業を目指す方が多いという、学習目的の特徴が反映されている可能性もあります。

パソコンの利用について、インターネットを使っていないのは、7%程度、90%超の方は、日常的にインターネットを使っていました。さらに、42%が、インターネット出願しています。今回も、僅かですが、インターネットの利用率が減少していて、インターネット利用率は、変化の少ない状況になっているようです。

(注) 図中の縦軸は、回答者数(人)を表しています。

【自由記入欄 多かった感想・意見】

- ・合唱団の歌声が素晴らしかった (8名)
- ・入学者(同級生)が多いのに驚いた (6名)
- ・立派な入学式で感動した(4名)
- ・客員教授や所長の話がよかった (5名)
- ・式の進行(運営)がよかった(2名)
- ・あたたかいよい雰囲気だった(2名)
- ・オリエンテーションをもっと充実させてほしい、オリエンテーションの内容を工夫してほしい(5名)

- ・オリエンテーションの説明がよく分かってよかった(2名)
- ・学習センターが立派だった(2名)
- ・厚木教室を利用したい(2名)
- ・開所時間を延長してほしい(2名)

2019年度神奈川学習センター「学生研修旅行」について

下記のとおり実施いたします。 (2019/7/5 掲載)

研修テーマ: 航空機の整備及び江戸東京の歴史と文化について学ぶ。

研修目的: 午前には羽田空港のANA機体工場を訪問し、「飛行機と整備についての説明」「整備関連のビデオ上映」「整備作業中の飛行機の見学」の行程において、普段見ることのできない安全運航を支えるための航空機の整備について学びます。午後には両国の江戸東京博物館を訪問し、施設や資料等を通して江戸東京の歴史と文化をふりかえり、未来の都市と生活を考えることを学びます。

1. 日 時: 2019年10月10日(木)8:30~18:00【雨天決行】
放送大学神奈川学習センター 8:20集合
横浜駅東口(当センターではありません) 18:00解散(予定)

2. 研修場所: ①ANA機体工場(羽田空港) ②江戸東京博物館

3. 募集人数: 35名
 ※1 神奈川学習センター所属の学生が対象です。応募者多数の場合は抽選となります。
 ※2 旅行当日に学籍があることが条件となります。
 ※3 研修の全行程に参加できることが条件となります。(解散場所以外からの帰宅は認めません)

4. 申込受付: 7月19日(金)~7月28日(日)(センター閉所日を除く)
 神奈川学習センター窓口にて(窓口以外での受付はできません)
 学生研修旅行抽選申込書を提出してください。

5. 抽選結果: 抽選結果は8月16日(金)に、当選者の番号を神奈川学習センターウェブサイト(<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/kanagawa/>)及び神奈川学習センター内の掲示板に掲示します。抽選結果の連絡は一切行いませんので、必ずご自身で確認を行ってください。

6. 当選者 当選者は8月16日(金)~9月1日(日)(センター閉所日を除く)の期間中に、参加費100円(予定)(バス旅行傷害保険代)と、参加確認書(参加費支払い後付する書類)を神奈川学習センター窓口へ提出してください。
期間中に参加費のお支払いがない場合は、参加権利を失います。
この場合、繰り上げ当選者に参加権利が移ります。

7. 研修指導: 福富所長、センター客員教授1名、K-サポート(バス研修チーム)

8. その他: ①参加者には簡単な感想文(学生研修旅行参加報告書)を提出してもらいます。
 ②交通移動手段として、借り上げバスを利用します。
 ③昼食は各自でご持参いただくか、江戸東京博物館のレストランをご利用ください。(センターでのお弁当の手配は行いません)
 ④研修パンフレットは9月下旬に送付する予定です。
 ⑤江戸東京博物館の入館料については、大学からの補助があるため無料です。

2019年度 神奈川学習センター開講ゼミ・研究会一覧

●神奈川学習センター客員教授開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
上川孝夫	上川ゼミ	金融や国際金融を中心に、経済学を学ぶゼミです。一見難しそうな学問ですが、基礎を重視しながら、幅広いテーマを取り上げます。また、日本銀行や東京証券取引所の見学なども予定しています。	原則 第3土曜日	4/20、5/18、 6/15、7/20、 8/17、9/21	Kamikawa @ynu.ac.jp	所 外 有
高橋邦年	英語基礎ゼミナール	毎回3時間(休憩10分)の活動を行う。平易な英語教科書を選び、必要に応じて講師が内容について説明・解説をし、それを受けて学生が演習を行う。進度はあらかじめ定めず、無理なく進める。	基本的に毎月 第2土曜日 または 第3土曜日	4/13、8/3	Takahak18 @gmail.com	
茂木一衛	茂木ゼミ	主にヨーロッパの芸術音楽について、歌唱、演奏、鑑賞の活動を通して学習・理解し親しみます。	毎月 木曜日1回 日曜日1回 (予定)	4/11、4/28、 5/23、5/26、 6/2、6/27、 7/11、7/14、 8/4、8/29、9/29	Kmoteki @nifty.com	

●本部客員教授開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
遠山紘司	遠山ゼミ	「物事をまとめる力、発表する力、討論する力」を身に付けることを目的としたゼミです。ゼミ担当者は自分が興味ある問題を探し、解決するまでの過程を考えて発表します。その後、参加者全員で問題の捉え方、解決策について討論します。ゼミの担当は1年に1回程度です。	原則月1回第3 木曜日 (9月まで)	4/18、5/9、 6/20、8/22、 9/19	Kmymt @olive.ocn.ne.jp	

●元客員教授開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
浅野幸弘	浅野ゼミ	経済・金融・証券投資の本をテキストに、ゼミ生が順に内容を纏めて報告、その後全員でディスカッションする2019年度はテキストとしてフェリックス・マーティン「21世紀の貨幣論」を使用する。	原則 第2木曜日	4/11、5/9、 6/13、7/11、 8/1、9/12	asano-yukihiro- rc@ynu.ac.jp	
影井清一郎	科学の散歩道研究会	① 身近な物理・生命・社会等の現象を数学・物理学・工学など自然科学の切り口で、自由闊達に議論・討論する。 これらの過程で有用な事項は各自の探求テーマ発掘に活用すると共に、学力向上、論文作成等に反映させる。 ②放送大学の授業内容(科学分野)の理解を深めるため、意見交換を行う。	原則月1回 第3土曜日	4/6、4/20、 5/18、6/1、 6/15、7/6	Kagei @ynu.ac.jp	
杉田正樹	哲学カフェ	「哲学カフェ」をやっています。参加者からその都度問題を出してもらい、それらについてみんなで議論するというものです。調べれば分かるような問題や、専門的な問題ではなく、身近なところで日頃不思議だと思っていることを論じます。人の話をよく聴くこと、よく考えることが条件です。黙っていることももちろんOKです。	原則 第4土曜日	4/28、5/23、 6/28、8/29	msugita@kanto- gakuin.ac.jp	

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
角 洋一	角ゼミ	角ゼミでは、2016年度から明治・大正期を代表する物理学者・随筆家である寺田寅彦の随筆を中心に輪読を実施しているが、2019年度は物理学、特に力学と自然災害、科学と芸術、大学と教育などに関する随筆の時代背景と社会状況を考察しつつその文章化を行う。	原則月1回 第2木曜日	4/11、5/9、 6/20、7/11、 8/8、9/19	sumi@ynu.ac.jp	所 外 有
種田 保穂	種田ゼミ	生物学に関する話題提供、動物園、博物館等の見学、自然観察会の実施。	月1回程度	4/22、6/18	taneda-yasuho- pj@ynu.ac.jp	
藤原 一繪	植生研 究会	①毎月1回定期的に研究会を開催し学期ごとにまとめの発表会を行う。 ②研究会はフィールドで各自のテーマに基づき観察調査し、自然から学び、新しい発見を探索する。その結果をまとめ、発表する技術を体得する。 ③生物多様性の視点からあらためて植生を観察する。	原則毎月 第2木曜日	4/11、5/23、 6/20、7/2、 9/12、 10/17、 11/14、1/9、 2/13	Syokusei @yakatsu.org	所 外 有

Kーサポートからのお知らせ

○学習相談チーム

令和元年度2学期の学習相談は、神奈川学習センターにて、10月中旬より開催予定です。

予約は不要です。放送大学での学習に関して困っている点に限らせていただきますが、まずは気軽に何でも相談にきてください。

○パソコンサポートチーム

パソコン操作の初心者、具体的にはパソコン経験のない方または放送大学ホームページが利用できない方に対し学生サポーターが「パソコン初心者塾」で支援します。パソコンのない方も神奈川学習センター実習室のパソコンを借用できます。

支援内容は、放送授業の視聴、通信指導の提出、科目登録の提出、過去試験問題の閲覧、図書館活用などです。

1学期の初心者塾は、受け付けを終了しました。2学期は、10月より募集します。募集時期になりましたら、学習センター1階ロビーつきあたりのKーサポート掲示板下のカウンター上に、申込書付きパンフレットとポストが準備される予定です。

OUJ神奈川学習センターだより編集部

家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、笹崎、三国
(50音順、以上、Kーサポート機関紙編集チーム)

垣谷(Kーサポート事務局)

早田(学習センター事務局)

学園祭「フェスタ・ヨコハマ」のご案内

8月31日(土)は、10:00-16:00の開催時間に、「映画鑑賞会」「アトラクション(皆さんと楽しむ合唱)」「大岡寄席」「ダンスパーティー」「神奈川同窓会ホームカミングデイ」などのイベントを行います。

9月1日(日) 10:00-11:30 記念講演
講師:木村 昌彦 横浜国立大学教授/放送大学
神奈川学習センター客員教授

演題:『オリンピックへ向けた柔道の戦い
～勝利追求主義そして最強かつ最高の選手作り～』

11:30-12:30 アトラクション(ジャズライブ)

12:30-15:30 親睦交歓パーティー(立食パーティー)

その他、茶席、各サークル出店、俳句・川柳大会、大抽選会。また、両日とも学生等の作品展示を行います。詳細は、ポスターチラシをご覧ください。

参加券:1,000円

*9月1日行事の参加には「参加券」が必要です。

主催:放送大学神奈川サークル協議会

後援:放送大学神奈川学習センター

お問合せ:090-8510-0971(たかはし)

080-5546-7913(はこぎき)



学生サークルからのお知らせ

○スペイン語研究会

★目的:スペイン語日常会話習得とスペイン語圏の歴史・文化を学ぶ会。★活動:月二回(第1・第3木曜日)、第1木曜日;日本人講師による初級、第3木曜日;外国人講師による中級。★会費:月1,000円。★内容:1時限・講師による日常会話習得、2時限・会員又はゲストスピーカーによる研究発表・講演。テーマはスペイン語圏の歴史、文化(映画他)など。★その他:講師・発表者との親睦会。

★連絡先:会長・講師 肥後 照雄

(電話: 080-2049-3523、メールアドレス: t_higo@cb3.so-net.ne.jp)

○放大かながわレク・サークル

★サークル活動:放送大学生との「仲間作り」とウォーキング等の「健康づくり」

★例会:2ヶ月に1回(含、映画鑑賞会)

★ウォーキング:2ヶ月に1回、「東海道五十三次」実施中。名所旧跡文化施設等も対象。

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

—会員募集中(随時申込・受付)—

★問合せ:島田 義治 Tel 090-3907-8384

E-mail simada.yosiharu@coral.plala.or.jp

○中国語学習会

中国語圏から訪日観光客は820万を超え、中国語を耳にする機会は多くなっています。中国語は、私たち日本語人にとって漢字を共用しているので学びやすい言語です。★発音の基礎を学び、リスニングに重点をおいた月2回の学習日(原則第1、第3日曜日)

★10時より中級程度クラス「総合力を鍛える中級中国語」白帝社 講師:告旭平先生。

★13時より入門から初級クラス「まいにち中国語2017.4月～9月号、または、2018年10月～2019年3号NHK出版。講師:陳曉恵先生

★二つのクラスとも受講できます。共に発音の基礎固めをし、リスニングに重点をおいて、表現力の向上を目指します。

★教室は、学生掲示板のポスター、またはホワイトボードでご確認下さい。

お問い合わせ先:

和田充弘 e-mail: snuf.708w@ezweb.ne.jp

○人間学研究会

★毎月の例会で卒業研究、旅行経験等のテーマを発表

例会予定:

・8月3日(土)13:00～ 学習センター第3講義室
金子章道慶應義塾大学医学部名誉教授
「人間の視覚」

・10月6日(日)10:00～ 学習センター
「鳴門の第九 歌声がたなぐ日独の100年」

★会誌「せせらぎ」30号を発行予定

★ウォーキング・植物園美術館巡り等行事、懇親会
会員募集中

お問い合わせ:

大和田克美 oowada-katsumi@u01.gate01.com

佐藤義春 E-mail: yoshi.l.chie@yd6.so-net.ne.jp

○うえるかむKanagawa

私たちは英語を楽しみながら学んでいるサークルです。

★例会は毎月第2、第4水曜日です。(試験月等は変更があります。)

*Benny Class(3クラス) 10:15～12:30

*English songs 13:15～13:30

*Group study 13:30～15:30

★そのほか、うえるかむ名画座、ゲスト講演会などを開催しています。

★問い合わせ 片野眞明 090-4714-8260

○ダンスサークル(社交ダンス)

★場所:神奈川学習センター第7講義室

★曜日:第2・第4火曜日 *第1・第3火曜日自主練習

★時間:午後2時～4時 講師:菊島弘明・ユリ子

★会費:1か月 1500円

★活動内容:社交ダンス(モダン、ラテン)の学習(ダンスパーティーで踊れるレベルに)

ダンスはスポーツです。健康増進(特に、姿勢が良くなる)、ストレス解消に、楽しく踊りませんか!! 人生がより明るくなります。不定期ですが、1泊での実習旅行も実施しています。初めての方も楽しく踊っています(初心者、歓迎!)

また、全科履修生の方は30時間のレッスンで、体育実技1単位を取得できます。

★連絡先:中村 健 tarumakan0904n@gmail.com

○神奈川放友会

豊かで実りある学生生活を共有することを目的に「学び」と「触れ合い」を柱とする幅広い活動を展開し150余名の会員がいるサークルです。

★学びの場の活動

- ・例会:8月4日(日)神奈川学習センター第3講義室

★触れ合いの場の活動

- ・一泊研修旅行9月13日(金)～14日(土)幕張の放送大学セミナーハウスにて会員による研究発表

★毎月の活動

- ・俳句の会、書に遊ぶ会、女性の会、詩游会、音楽部

問合せ:吉岡 淳 info@kanagawa-hoyukai.jp

○資格取得研究会

看護・福祉分野のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。各種資格(心理系含む)の取得と放送大卒業を目的とする方が多い。内容は、情報交換が中心。例会予定は次の通り

- ・8月24日(土)10:30～ 学生団体室(予定)
- ・9月14日(土)10:30～ 学生団体室(予定)
- ・10月6日(日)16:00～ (予定・会場未定)

★会費: ¥500(1年間)

★ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>

★お問い合わせ…080-5546-7913(はこざき)

○韓国語同好会

★前期 月例会予定日 土曜日

8/3,17 9/7,21 10/12,26

- ① 10:00～11:30 中級クラス
- ② 11:30～12:00 ミーティング(全員)
- ③ 12:00～13:30 初級クラス
- ④ 13:45～14:45 自主学习

短編小説 ソナギ(にわか雨)

★講師 李明淑(イ・ミョンスク)先生

★初めての方へのサポートを強化しました。

★入会随時、見学大歓迎です。

★会費 1ヶ月2,000円 3ヶ月前納

★問合せ 神奈川サークル協議会ホームページ。

★フェスタ神奈川、マッコリをご用意お待ちしております

<http://kcc-ouj.net/dantai/hangugo/>

tsuyukimt@gmail.com(代表:露木)

○神奈川合唱団

★合唱を愛好する皆さんと共に「学び」と「合唱」で学生生活を楽しむサークルです。現在30有余名の会員がおります。

★学位記授与式(NHKホール)では、全国の合唱愛好の皆さんと「学歌」、ベートーヴェンの「第九」第4楽章を歌い卒業生、修了生のお祝いをしました。

現在は、「学歌」、「愛燦燦」、「川の流れるように」を合唱曲として練習しております。

★合唱指導は、バリトン歌手でオペラに出演している清水一成先生をお招きし、練習に取り組んでおります。

★場所:大岡地区センター音楽室(2階)

★日時:毎月 第1・第3水曜日18:00～20:30

★連絡先、馬場信一 s-baba820@leaf.ocn.ne.jp

神奈川同窓会だより

神奈川同窓会は、放送大学に学んだ「誇り」を共有し「母校意識」をもって大学のために、また、「プランインターナショナルジャパン」や「あしなが育英会」を通じて寄付金を集めるなど、社会貢献活動を進めています。毎月行う「弘明寺サロン」や「卒業・修了祝賀茶話会」等を開催しています。

8月31日(土)には、学園祭のフェスタ・ヨコハマにあわせ、学習センター第4講義室で、午前10時より「ホームカミングデー」を開催します。行事内容は、11:40～12:15 福富所長を囲んでの茶話会、それに続き、みんなで太極拳。また、第2講義室で、お茶席も開かれます。卒業生はもちろんのこと、ご家族や在学中の学生も参加できますので、みなさまお誘い合わせの上、お越してください。

最新情報は、インターネットでご覧いただけます。神奈川同窓会ホームページ「波濤ネット」urlは、<http://hatoh.net/>



神奈川学習センターからのお知らせ

● 8月の閉所日のお知らせ

神奈川学習センターでは、8月の以下の日程が閉所日となります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解の程お願いします。

【8月の閉所日】

8月5日(月)、10日(土)～15日(木)、19日(月)、26日(月)

● 2019年度第1学期単位認定試験の成績通知書送付時期について

第1学期の単位認定試験の結果は郵送にて通知します。また、システムWAKABA「教務情報」→「履修成績照会」で成績を確認することができます。

《成績通知送付時期》 2019年8月下旬

● 2020年度卒業研究履修申請について

卒業研究履修申請条件を満たしており、2020年度に卒業研究の履修を希望される方は、下記期間内に本部へ申請してください。申請書・送付用封筒がセットされた「卒業研究履修の手引」は、神奈川学習センターの窓口で配付しておりますので、直接窓口で受領してください。

申請する方は、「卒業研究履修の手引」の内容を必ず確認してから申請してください。

《申請書提出期間》 2019年8月16日(金)～8月22日(木)(本部必着)

● 喫煙場所が廃止になりました

改正健康増進法の施行により、7月1日から学校は原則禁煙となりました。神奈川学習センターにおいても喫煙場所を廃止し、敷地内禁煙となりましたのでお知らせします。なお、神奈川学習センター外の路上等、近隣地域での喫煙についても差し控えるようお願いします。

● 客員教授による公開講演会のお知らせ

神奈川学習センターでは下記の通り公開講演会を開催いたします。講演会への参加をご希望の方は、神奈川学習センターまでお電話でお申し込みください。

日時： 8月18日(日) 13:00～14:45

講師： 高木 秀明 先生

テーマ： 「自己理解について」

● 第2学期科目登録のお知らせ (学生生活の葉を熟読のこと)

2019年度2学期に履修する授業科目は、1学期中に科目登録する必要があります。

「科目登録申請票」の郵送またはシステムWAKABAで、申請期限内に登録をお願いします。(ご不明な点は「学生生活の葉」をご参照ください。)

《科目登録申請要項送付時期》 2019年7月中旬

《郵送提出》 2019年8月15日(木)～8月30日(金) **放送大学本部 私書箱必着**

《Web提出》 2019年8月15日(木)9:00～8月31日(土) 24:00まで

科目登録申請開始の8日前になっても「科目登録申請要項」等の資料が到着しない場合や、紛失した場合は、神奈川学習センターではなく**大学本部**(043-276-5111)まで連絡してください。